第６回生涯学習審議会
資料２

生涯学習部の報告事項

１．町田市教育委員会定例会

（1）２０２５年度 第8回 定例会（２０２５年１１月７日）

＜報告事項＞

【図書館】

・報告事項　１：「推し本を伝えよう！ひとことＰＯＰコンテスト２０２５」の開催について

・報告事項　２：「第１９回文学館まつり」の実施報告について

（2）２０２５年度 第9回 定例会（２０２５年１２月１９日）

＜報告事項＞

【生涯学習総務課】

・報告事項　５：「手仕事の技ー小野路のメカイ作り再発見ー」展の開催について

【生涯学習センター】

・報告事項　６：生涯学習センターリニューアル記念講座・イベントの開催について

（3）２０２５年度 第１０回 定例会（２０２６年1月９日）

＜報告事項＞

【生涯学習総務課】

・報告事項　２：令和７年度優良ＰＴＡ文部科学大臣表彰の受彰について

・報告事項　３：「町田とお殿さまー江戸時代の領民と領主ー」展の実施報告について

【図書館】

・報告事項　４：「サニーデイ・サービス　曽我部恵一展」の実施報告について

・報告事項　５：「『風立ちぬ』から９０年 堀辰雄 しあわせのヒント」展の開催について

・報告事項　６：「ことばらんどショートショートコンクール２０２５」受賞者の決定について

２．町田市議会定例会

（１）町田市議会１２月定例会

＜一般質問＞

おぜき　重太郎議員（１２月４日）

「夕焼け小焼け」作曲１００周年を活用した相原のにぎわいづくりについて

中村雨紅や「夕焼け小焼け」のことを紹介する取り組みを継続してはどうか。

（生涯学習部回答）

町田市教育委員会では、童謡「夕焼け小焼け」作曲１００周年を記念して、７月１日の童謡の日にちなみ、２０２３年６月２７日から７月９日まで、町田市民文学館において、「童謡の日　中村雨紅展」を開催した。

２０２３年度の展示に対して来館者から反響をいただいたことから、２０２４年度及び２０２５年度も同様の展示を行った。

２０２５年度は、７月１日から６日までの６日間で展示を行い、「夕焼け小焼け」の歌詞や創作秘話の紹介パネルをはじめ、中村雨紅が童謡作家になる前に作品を投稿した雑誌「金の船」、また「夕やけ小やけ　中村雨紅詩謡集」などの資料を、中村雨紅の写真や略歴とともに紹介した。

期間中、文学館には１，１２１人の来館者があり、多くの方にご覧いただく機会となった。今後についても、同様の取り組みを継続していきたいと考えている。

今村　るか議員（１２月５日）

社会教育施設の活用と歴史の継承に関して

博物館法改正を機に取り組んでいることについて伺う。

（生涯学習部回答）

２０２３年４月の博物館法の改正では、文化芸術によって生み出される様々な価値を文化芸術の継承や発展、創造に活かせるよう、観光や教育その他の各関連分野と連携することを求めている文化芸術基本法に基づくことが定められた。具体的には、博物館は、従来の資料保存や調査研究、展示といった基本的な機能に加え、資料のデジタルアーカイブ化や、地域の多様な主体との連携・協力による文化観光その他の活動を図り、地域の活力の向上に取り組むことが努力義務化された。

これを踏まえた取組としては、博物館法の改正にさきがけて、２０２２年度に町田市の考古・歴史・民俗といった分野の資料をインターネット上で閲覧することができる「町田デジタルミュージアム」を公開し、いつでもどこでも町田の歴史に親しめる環境を整えた。

市、内外の多くの方に、「町田デジタルミュージアム」にアクセスいただくことで、実物の展示をご覧いただくために町田市立自由民権資料館等の社会教育施設を訪れていただくきっかけになっているものと考えている。

また、２０２３年度からは、町田の歴史を学ぶ講座を拡充し、獅子舞やお囃子といった無形民俗文化財の保存団体の皆様と連携した講座の実施や、地域の歴史や文化に触れ、地域への興味を深めていただくフィールドワークの実施等にも取り組んでおり、地域の活力向上に寄与しているものと考えている。

三遊亭　らん丈議員（１２月８日）

町田の歴史を後世に伝える取組について

（1）町田の歴史を後世に伝えることについての認識は。

（2）町田の歴史を後世に伝えるために取り組んでいることは。

（生涯学習部回答）

（1）町田の歴史を後世に伝えていくためには、「歴史資料の適切な収集・保存」と、それらの資料が持つ「歴史的な価値の市民への発信」を両輪として施策を進めていくことが必要であると認識している。

歴史資料の適切な収集・保存について、市民の財産である町田の地域文化の継承や貴重な文化財の保護のために重要であると考えている。

また、収集・保存した資料を基に学術研究を行い、その歴史的な背景や価値を明らかにし、様々な機会を通じて市民の皆様に分かりやすくお伝えすることは、自身の住む地域の歴史や特性について理解を深め、郷土への愛着を育むために重要なことであり、このことが町田の歴史を後世に伝えることにつながるものと考えている。

（2）「歴史資料の適切な収集・保存」については、地域に残る貴重な歴史資料の散逸を防ぐため、市民の皆様のご自宅や蔵等で保管されている資料に関する相談を随時受け付けており、ホームページやＳＮＳ、広報まちだ等を通じて広く周知している。

このことにより、毎年、多くの資料の寄贈や寄託を受け、町田市立自由民権資料館等で適切に保存している。

「歴史的な価値の市民への発信」について、子どもたちに向けては、小学校３・４年生の社会科副読本「わたしたちの町田」で、町田市のまちの様子のうつり変わりを取り上げている。

また、総合的な学習の時間の学習の一環として、学校周辺がどのようにうつり変わったのか等を学んでいる学校もある。２０２２年度からは、専門の学芸員が小・中学校等で歴史授業を行う、「出張歴史授業プログラム」も開始した。

市民の皆様に向けては、２０２３年２月に、考古資料室と自由民権資料館の展示内容を大幅にリニューアルした。考古資料室では町田の遺跡の内、特に多くの土器や石器が発掘されている縄文時代に焦点を当てた展示を公開している。

自由民権資料館では町田市域の原始から現代までの歴史を紹介する通史展を常設するとともに、定期的に企画展を開催している。現在は、江戸時代の領民と領主の関係に焦点を当てた「町田とお殿さま」展を開催し、学術研究の最新の成果を分かりやすく紹介しており、大変好評をいただいている。

今後も、市民の皆様が町田の歴史を身近に感じ、郷土への理解と愛着を一層深めていただけるよう、様々な取組を進めていく。